

和歌・上代・中古・中世・近世文学会会員の皆様
【古典ライブラリー 刊行・配信のご案内】

* 書籍・雑誌は学会特別定価にて承ります（～2024年7月末）

古典ライブラリー【ご購入・お問い合わせ】

E-mail kotenlibrary@gmail.com

FAX 050-3737-2221

* メールまたは FAX にてお願い申し上げます。

* 弊社は直接販売のみ承っております。

* 公費でご購入の際は必要書類も合わせてお知らせください。

* 送料は弊社負担にてお送りいたします。

* お支払い時の振込手数料につきましてはご負担をお願いいたします。

『歌合集成【平安編】』 2024年6月いよいよ刊行!

本文が残る平安期の歌合を可能な限り収載、底本に忠実に翻刻し最新の研究成果を踏まえた解説を付す、古典文学研究必備の一書

【本書の特徴】

1. 忠実な翻刻

日本文学Web図書館収載の『新編私家集大成』同様、底本に最善本を選び忠実に翻刻、可能な限り原態のままの優れた本文を提供。

2. 新資料

『平安朝歌合大成』以降、新たに発見された歌合や最近の古筆研究の成果も取り入れ、より充実した本文を提供。

3. 『和歌文学大辞典』との連携

それぞれの歌合は、名称、本文・解題において『和歌文学大辞典』の項目、解説と連携。

4. 索引

和歌・漢詩を歌合の配列順に抜き出し、Excelで1首1行（1句ずつセルで区切り配置）として一覧を作成、全句索引としてCD-ROMに収載し書籍に付帯。

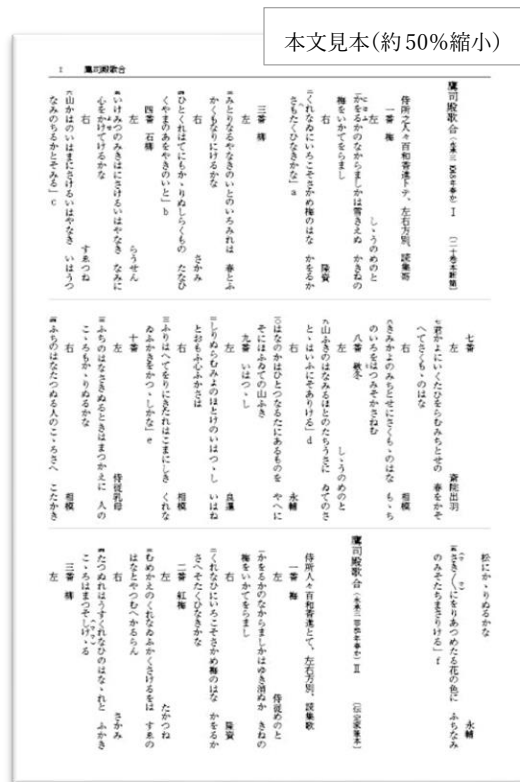
【本書の内容】

*在原行平のもとで行われた現存する最古の歌合であり、歌

合の歴史としても初期のものと考えられる民部卿家歌合（仁和元 885 年～仁和三 887 年）を筆頭に、平安後期まで200を超える歌合を収載。歌数は8500首超。

*本文研究の結果、複数系統の本文の存在が明らかになっている場合は、原則として各系統を代表する本文を採択し、それぞれI II…として最善本を底本に選定。十巻本、二十巻本の両系統は必ず掲げる。

*断簡でしか本文が存在しない、あるいは異なる系統の断簡本文が存在する場合は、その断簡も一系統として立てた。



『歌合集成【平安編】』 歌合集成平安編編集委員会 編

【編集委員】 久保木哲夫（都留文科大学名誉教授）・後藤祥子（日本女子大学名誉教授）・

平野由紀子（お茶の水女子大学名誉教授）・田中 登（関西大学名誉教授）

【執筆者】 約45名

【定 価】 32,000円（税込35,200円）→**2割引 25,600円（税込28,160円）**

【判 型】 B5判上製 本文3段組・解題2段組 全句索引収載のCD-ROM付帯

【予定頁】 800ページ 【発行・発売】 古典ライブラリー

そのほか既刊書籍のご案内

『和歌文学大辞典』 オンデマンド版

35,000 円 (税込 38,500 円) ◆2 割引 28,000 円(税込 30,800 円)

『連歌大観』 第一～四巻

【判型】 B5 判・函入 本文 3 段組み・解題 2 段組

◆全四巻 本体 112,000 円 (税込 123,200 円) →2 割引 98,560 円(税込)

◆バラ売り各本体 28,000 円 →2 割引 24,640 円(税込)

『応円満院殿御詠歌—近衛基熙の家集—』 川崎佐知子 著

18,000 円 (10%税込 19,800 円) ISBN 978-4-904470-08-4 ◆2 割引 14,400 円(税込 15,840 円)

近衛基熙の遺稿から選ばれた二千余首の類題和歌集。その拠るべき本文を提供！

詠草のほか、歌集稿・短冊・切紙、詠作や歌会に関連する書状を含む「基熙公御詠草」、日記『基熙公記』などの諸資料を緻密に調査し家集との関係を検証。A5 判 700 頁。

『近衛家熙公御詠草—翻刻と研究—』 緑川明憲 著

12,000 円 (10%税込 13,200 円) ISBN 978-4-904470-05-3 ◆2 割引 9,600 円(税込 10,560 円)

江戸時代を代表する文化人であった近衛家第二十一代当主、豫楽院・近衛家熙。その博学多才、多芸多能で知られた家熙公の和歌全詠草の初翻刻！ 陽明文庫蔵の底本に忠実な翻刻はもとより、複雑煩瑣な添削部分を詠藻末尾に再構成するなど、創意工夫も重ねた渾身の著作。

『初期林家林門の文学』 伊藤善隆 著

本体 15,000 円+ 税 ISBN 978-4-904470-07-7 ◆2 割引 12,000 円(税込 13,200 円)

中国明末の文芸・文化に強い憧憬を覚えた、野間三竹・林読耕斎・石川丈山ら江戸初期の知識人たち。彼らの文学的営為から見えてくる近世の「隠逸観」に迫る！

「日本文学研究ジャーナル」各号 1,600 円（税込 1,760 円）

◆学会特別定価 1 部 1,500 円（税込）

最新刊（2024 年 3 月末刊行）好評発売中！

第 29 号〈特集〉仏教と説話 編集／河野貴美子・李 銘敬

本特集は、仏教と説話が、日本の文学史の中でどのような役割や意義をもってきたのか、人文学の各領域や東アジアとのかかわりも視野に、さまざまな角度から照らし出してみたいと企画した。仏教説話の定義を問い直し、その多面性を具体的事例とともにあざやかに語ってくださった石井公成先生の巻頭エッセイをはじめ、執筆者には、仏教と説話にまつわる人、テキスト、和歌、信仰、儀礼等々について、日本を中心に、また韓国、中国からインドにも及ぶ世界も含みつつ、論じていただいた。各論文で取り上げられたテーマは、現在の研究の趨勢を反映するものとなっていよう。これがまた一つの基点となり、問題意識の共有とさらなる議論へつながればと願う。（河野）

六朝時代から唐宋以来、三宝の靈驗譚を集める仏教説話集が多く撰述され、中国の民間的仏教信仰を推し進めるものとして、魯迅から「釈氏輔教之書」と命名された。だが、仏教の中国での衰退とともにこうした作品は殆ど散逸した。しかし幸いなことに、それらは成立後、間もなく日本列島に伝来し、日本仏教文学の発生と発展に多大な刺激と影響を与え、しかもその多くは古写本を含め現存し、中日の文学・文化・宗教・芸術など多方面にわたる比較研究に資する貴重な文献となっている。それは巨視的に見れば、日本仏教文学の源流たるものであるが、より具体的に見ると、日本における仏教の民間への普及と唱導文芸の展開、及び鎌倉新仏教の興起と旧仏教流派の復興運動に伴い、引用・抄録・和訳され、あるいはまた壁画・絵巻などの制作資料となるなど、いろいろな形で利用された。中でも最も有難く思われるのは、それを題材とした絵巻などの図像資料が多く残ったことである。本特集を通して中日仏教文学と文化が響きあう、その一齣を実感していただければ幸いである。（李）

〈編集後記より〉

第 29 号【目次】

《巻頭エッセイ》お説教でない仏教説話	石井公成
中世日本における玄奘像の展開	高 陽
宋・常謹撰『地藏菩薩応驗記』研究序説	李 銘敬
常謹『地藏菩薩応驗記』絵巻とその周辺 ―真福寺蔵絵詞を中心として―	本井牧子
日吉社縁起としての慈円「おほけなく」歌考 ——法楽和歌の歴史叙述と中世前期におけるその享受をめぐって	児島啓祐
いわゆる立川流『阿字観』の変容	海野圭介
『橘寺聖徳太子伝記』における橘寺関連記事	松本真輔
東アジアにみる動物とすり替えられた太子の説話 ―金牛太子譚を中心に―	金 英順
目録学からたどる仏教説話集の展開とその位置	河野貴美子

～～次号（2024年6月末刊行）～～

第30号 ジェンダーから見る〈作者〉—和歌と散文—（編集／田淵句美子・新美哲彦）

【目次（予定）】

《巻頭エッセイに代えて》和歌表現とジェンダー	近藤みゆき
『紫式部集』4・5番が女どうしの歌である件	加藤昌嘉
公的事業としての文学作品とそれに関わる女性作者 ——『源氏物語』『栄花物語』『枕草子』を中心に——	新美哲彦
『周防内侍集』の編纂意識——「内侍」という職掌から	大野順子
題詠恋歌のジェンダー素描——『正治初度百首』の後鳥羽院を中心に——	田淵句美子
『今とりかへばや』と『有明の別れ』における男装モチーフの特徴 ——中国の異性装文学との比較から	邱 春泉
連歌の恋句について—作中主体とジェンダー—	浅井美峰
作り物語の変容とジェンダー—『雲隠六帖』における紫の上の変容を中心に—	小川陽子
『常盤の姫』の享受圏—嫁入り本としての意義—	恋田知子
江戸後期の女性に向けて再構築された文学的才能—『女有職学文庫』を例に—	ゲルガナ・イワノワ

*以降の予定

2024年9月 第31号 中国地方の古典文学資料（妹尾好信・原 豊二 編）

2024年12月 第32号 連歌の圏域（松本麻子・岡崎真紀子 編）

2025年3月 第33号 源氏物語の表現世界を問い直す（竹内正彦・今井 上 編）

*以降続刊

◆「日本文学研究ジャーナル」 定期購読 通年お申込み OK！

価格改定のお知らせ

この度小社では今般の諸物価高騰に伴い、2025年6月刊行の第34号より下記の通りに価格を改定させていただきますこととなりました。ご購読の皆様にはご負担をおかけいたしますが、編集部は今後ともさらに良い誌面作りを目指してまいります。ご高配を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたらお申し越してください。

「日本文学研究ジャーナル」新価格

本体価格 2,000円（税込 2,200円）

定期購読（年間）本体 7,000円（税込 7,700円）*2025年6月刊行第34号より

〈古典ライブラリー注文書〉

E-mail kotenlibrary@gmail.com Fax 050-3737-2221

	[] 冊
	[] 冊
	[] 冊
お申込者（ふりがな）	
ご住所（送付先）	
〒	
お電話	F A X
MailAddress	
必要書類等	

* 書店様でのお取り扱いはしていません。

* お申し込みは、E-mail、または本申込書にご記入の上、直接または FAX にて弊社までお申し込みください（勝手ながらお電話でのご注文はお受けしていません）。

日本文学Web図書館

Web Library of Japanese Literature

株式会社古典ライブラリーは「日本文学Web図書館」を運営しています

和歌・連歌ライブラリー、和歌・連歌・俳諧ライブラリー

- * 『連歌大観』、「日本詩紀」「日本詩紀拾遺」（「歌書集成」内）追加！
- * [作者検索] に私撰集を追加！日本文学Web図書館だけの機能！！
- * 和歌ライブラリーは和歌・連歌ライブラリー、和歌&俳諧ライブラリーは和歌・連歌・俳諧ライブラリーにそれぞれ名称が変更になりました。

辞典ライブラリー

『角川古語大辞典』『角川日本地名大辞典』好評配信中！

これまでの辞典ライブラリー（和歌文学大辞典、歌ことば歌枕大辞典）にオプション追加、またはそれぞれ単独の辞典でもお申込みいただけます



近世期の史料から数多くの語を収載した大辞典！

『角川古語大辞典』（全5巻、見出し語10万語）を5つの検索機能で自在に検索。『和歌文学大辞典』『歌ことば歌枕大辞典』『角川日本地名大辞典』との横断検索も可能に。

書名や出来事の全文検索で研究の幅が広がります！

『角川日本地名大辞典』（都道府県別47巻の地名編24万5千語）を5つの検索機能で自在に検索。『和歌文学大辞典』『歌ことば歌枕大辞典』『角川古語大辞典』との横断検索も可能に。

入会、無料トライアルのお申込み、お問い合わせはEmailにてお願い申し上げます。法人・団体でご利用の場合も直接弊社までお申込みいただくか、お問合せください。

まずは無料トライアル！ 古典ライブラリー Email : kotenlibrary@gmail.com

「日本文学Web図書館」個人、法人会費

「日本文学Web図書館」個人、法人年間利用料金表

【会費】

個人年間利用料(10%税込)

	年払い額	参考;月額換算
①和歌ライブラリー	19,800円	1,650円
②和歌&俳諧ライブラリー	22,440円	1,870円
③平安文学ライブラリー	11,880円	990円
④辞典ライブラリー	9,240円	770円
辞典ライブラリー+角川古語大辞典	18,480円	1,540円
辞典ライブラリー+角川日本地名大辞典	25,080円	2,090円
辞典ライブラリー+角川古語大辞典、 角川日本地名大辞典	34,320円	2,860円
⑤日本文学研究ジャーナル	現在無料配信中	

【参考】辞典ライブラリー(個人)追加コンテンツ利用料
 角川古語大辞典のみ 9,240円
 角川日本地名大辞典のみ 15,840円
 角川古語大辞典+角川日本地名大辞典 25,080円

* 修訂訓注明月記データベース コンテンツ料 88,000円/購入時 システム利用料1,980円/年

法人年間利用料(10%税込)

	同時2アクセス	参考;月額換算	同時5アクセス	参考;月額換算	同時10アクセス	参考;月額換算
①和歌ライブラリー	264,000円	22,000円	396,000円	33,000円	792,000円	66,000円
②和歌&俳諧ライブラリー	343,200円	28,600円	514,800円	42,900円	1,029,600円	85,800円
③平安文学ライブラリー	132,000円	11,000円	198,000円	16,500円	396,000円	33,000円
④辞典ライブラリー	105,600円	8,800円	158,400円	13,200円	316,800円	26,400円
辞典ライブラリー+角川古語大辞典	208,560円	17,380円	316,800円	26,400円	633,600円	52,800円
辞典ライブラリー+角川日本地名大辞典	264,000円	22,000円	396,000円	33,000円	792,000円	66,000円
辞典ライブラリー+角川古語大辞典、 角川日本地名大辞典	366,960円	30,580円	554,400円	46,200円	1,108,800円	92,400円
⑤日本文学研究ジャーナル	現在無料配信中					

* 修訂訓注明月記データベース (同時2アクセスの場合) コンテンツ料 2640,000円/購入時 システム利用料3,960円/年

【参考】辞典ライブラリー(法人)追加コンテンツ利用料

角川古語大辞典のみ	102960円	8,580円	158,400円	13,200円	316,800円	26,400円
角川日本地名大辞典のみ	158400円	13,200円	237,600円	19,800円	475,200円	39,600円
角川古語大辞典+角川日本地名大辞典	261360円	21,780円	396,000円	33,000円	792,000円	66,000円